



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場会社名 株式会社カネカ 上場取引所 東証一部・大証一部・名証一部  
 コード番号 4118 URL <http://www.kaneka.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)菅原 公一  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経理部長 (氏名)石原 忍 (TEL) (06)6226-5169  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	234,848	4.7	6,438	△38.4	5,776	△46.5	2,842	△54.8
23年3月期第2四半期	224,307	11.1	10,448	30.3	10,802	49.5	6,288	57.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △2,823百万円(―%) 23年3月期第2四半期 1,040百万円(―%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8 39	8 38
23年3月期第2四半期	18 54	18 53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	447,097	256,216	55.1
23年3月期	455,140	261,828	55.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 246,534百万円 23年3月期 252,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8 00	—	8 00	16 00
24年3月期	—	8 00			
24年3月期(予想)			—	8 00	16 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	485,000	6.9	17,500	△17.6	15,500	△26.1	7,500	△35.5	22 13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	350,000,000株	23年3月期	350,000,000株
24年3月期2Q	11,043,777株	23年3月期	11,082,130株
24年3月期2Q	338,938,626株	23年3月期2Q	339,177,595株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成23年4月28日に公表いたしました連結業績予想につきましては、平成23年10月28日公表の「平成24年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて、通期の業績予想を修正しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 四半期決算説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。
- 当社は、以下のとおりアナリスト向け説明会を電話にて開催する予定です。
  - 平成23年10月28日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け四半期決算説明会

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 12
(5) セグメント情報等	P. 12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の業績は、売上高は234,848百万円(前年同四半期連結累計期間(以下、前年同四半期)比4.7%増)と前年同四半期を上回りましたが、営業利益は6,438百万円(前年同四半期比38.4%減)、経常利益は5,776百万円(前年同四半期比46.5%減)、四半期純利益は固定資産売却損を特別損失として計上したこと等により2,842百万円(前年同四半期比54.8%減)と減益となりました。

セグメント別では、前年同四半期と比較して、エレクトロニクス事業が減収となりましたが、化成品事業、機能性樹脂事業、発泡樹脂製品事業、食品事業、ライフサイエンス事業、合成繊維、その他事業は増収となりました。営業利益は、化成品事業、合成繊維、その他事業は増益となりましたが、機能性樹脂事業、発泡樹脂製品事業、食品事業、ライフサイエンス事業、エレクトロニクス事業は減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化成品事業

塩化ビニール樹脂は、国内市場向けの販売数量が前年同四半期より増加するとともに、原燃料価格の上昇に伴う販売価格の修正に注力し、増収増益となりました。塩ビ系特殊樹脂は、国内市場向けの販売数量が増加し、コストダウン等も寄与して増収増益となりました。か性ソーダは、国内市場向けの需要が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は45,895百万円と前年同四半期と比べ3,092百万円(7.2%増)の増収となり、営業利益は1,274百万円と前年同四半期と比べ577百万円(82.8%増)の増益となりました。

②機能性樹脂事業

モディファイヤーは、国内・海外市場ともに需要が低調に推移し、製品差別化力の向上及びコストダウン等の収益体質強化に注力したものの、原燃料価格の上昇及び円高の影響を強く受け、増収ながら減益となりました。変成シリコーンポリマーは、欧州・北米及び国内の建築関連需要が低調に推移するとともに、原燃料価格の上昇及び円高の影響を受けたものの、各市場において販売数量が増加し、増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は37,572百万円と前年同四半期と比べ2,322百万円(6.6%増)の増収となり、営業利益は3,802百万円と前年同四半期と比べ430百万円(10.2%減)の減益となりました。

③発泡樹脂製品事業

発泡スチレン樹脂・成型品は、東日本大震災による東北・関東地域の水産分野の需要低迷の影響を強く受けました。押出發泡ポリスチレンボードは、国内住宅市場の需要が伸び悩む中で販売数量を拡大し、原燃料価格上昇に対応した製造コストダウンと経費削減にも徹底して取り組みました。ビーズ法発泡ポリオレフィンは、震災による自動車分野のサプライチェーン停滞等に伴う需要減少の影響を受け、日本・アジア・欧州市場ともに需要が低迷しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は28,734百万円と前年同四半期比7百万円増(0.0%増)のほぼ同水準となり、営業利益は1,897百万円と前年同四半期と比べ998百万円(34.5%減)の減益となりました。

④食品事業

食品は、新製品の拡販などにより販売数量が増加するとともに、製品の価格修正やコストダウンに努めましたが、油脂等原料価格の高止まりや顧客の低価格志向の高まりを背景とした安価品の構成拡大の影響を強く受けました。

以上の結果、当セグメントの売上高は64,495百万円と前年同四半期と比べ4,397百万円(7.3%増)の増収となり、営業利益は2,508百万円と前年同四半期と比べ1,464百万円(36.9%減)の減益となりました。

⑤ライフサイエンス事業

医療機器は、インターベンション事業の販売が順調に拡大しました。医薬バルク・中間体は、販売数量が低調に推移しました。機能性食品素材は、米国市場はじめ欧州・日本市場でも高機能品の販売数量が増加し、コストダウンにも注力しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は23,289百万円と前年同四半期と比べ266百万円(1.2%増)の増収となり、営業利益は3,869百万円と前年同四半期と比べ318百万円(7.6%減)の減益となりました。

⑥エレクトロニクス事業

液晶関連製品は、新規用途の拡大などにより販売数量が増加したものの、超耐熱性ポリイミドフィルムは、震災及び欧州・米国など世界的な経済不安の広がりを背景としたエレクトロニクス製品市場の需要停滞の影響により、販売数量が前年同四半期を下回りました。太陽電池は、海外市場の需要低迷と競争の激化に伴う販売価格下落及び円高の影響を受けるなかで、国内市場向けの販売数量は着実に増加しましたが、欧州・アジア市場向けの販売数量が減少し、太陽電池関連部材も低調な出荷となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は19,387百万円と前年同四半期と比べ1,054百万円(5.2%減)の減収となり、営業損失は2,557百万円となりました。

⑦合成繊維、その他事業

合成繊維は、円高及び原燃料価格の上昇の影響を強く受けましたが、海外市場の需要堅調を背景に販売数量が前年同四半期より増加するとともに、販売価格の修正やコストダウンなどの収益改善策に注力し、増収増益を確保しました。また、その他事業についても増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は15,474百万円と前年同四半期と比べ1,509百万円(10.8%増)の増収となり、営業利益は656百万円と前年同四半期と比べ69百万円(11.8%増)の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8,043百万円減の447,097百万円、有利子負債残高は、2,626百万円減の63,967百万円となりました。また、純資産は、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少等により5,612百万円減の256,216百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等により2,833百万円となりました。投資活動による資金の支出は、有形固定資産の取得による支出等により14,428百万円、財務活動による資金の支出は、社債の償還による支出等により4,547百万円となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、21,350百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの各事業は、第1四半期連結会計期間以降、東日本大震災による需要減少等の影響や原燃料価格の高騰、円高の進行の影響を強く受けております。第3四半期連結会計期間以降の事業環境は、日本における震災復興需要の本格化が期待される一方、世界経済は、財政危機問題を契機とした欧州・米国の経済悪化のリスクや中国・アジア諸国など新興国の景気減速懸念、国際的な株式・金融市場の不安定化や為替の動向など、先行きが極めて不透明な情勢となっております。

このような状況下、当社グループは、各事業において、販売数量増大のための施策及び製造コストや経費の削減、円高対策等に徹底して取り組み、収益強化に全力を挙げておりますが、通期連結業績予想は、前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、第3四半期以降の為替レート、原燃料価格につきましては、75円/米ドル、105円/ユーロ、国産ナフサ価格51,000円/KLを想定しております。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	500,000	25,000	23,500	13,000	38.36
今回修正予想 (B)	485,000	17,500	15,500	7,500	22.13
増減額 (B - A)	△15,000	△7,500	△8,000	△5,500	—
増減率 (%)	△3.0%	△30.0%	△34.0%	△42.3%	—
(ご参考) 前年実績 (平成23年3月期)	453,826	21,235	20,983	11,625	34.28

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,685	21,690
受取手形及び売掛金	103,891	106,441
有価証券	322	322
商品及び製品	38,023	44,376
仕掛品	8,017	8,077
原材料及び貯蔵品	22,112	22,411
その他	12,772	14,705
貸倒引当金	△400	△211
流動資産合計	222,425	217,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,856	52,842
機械装置及び運搬具（純額）	64,264	62,816
その他（純額）	44,945	46,280
有形固定資産合計	163,065	161,940
無形固定資産		
のれん	4,436	4,067
その他	2,763	3,080
無形固定資産合計	7,199	7,148
投資その他の資産		
投資有価証券	46,438	42,306
その他	16,581	18,473
貸倒引当金	△568	△584
投資その他の資産合計	62,450	60,195
固定資産合計	232,715	229,283
資産合計	455,140	447,097



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,771	59,650
短期借入金	21,176	28,074
未払法人税等	4,145	2,874
引当金	1,104	766
その他	39,369	37,553
流動負債合計	126,566	128,918
固定負債		
社債	15,143	15,000
長期借入金	26,095	21,886
退職給付引当金	19,228	19,306
引当金	320	314
負ののれん	639	535
その他	5,318	4,919
固定負債合計	66,745	61,962
負債合計	193,311	190,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	34,836	34,836
利益剰余金	197,462	197,580
自己株式	△9,760	△9,726
株主資本合計	255,585	255,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,677	4,226
為替換算調整勘定	△10,148	△13,430
その他の包括利益累計額合計	△3,471	△9,204
新株予約権	127	137
少数株主持分	9,587	9,545
純資産合計	261,828	256,216
負債純資産合計	455,140	447,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	224,307	234,848
売上原価	168,383	179,795
売上総利益	55,923	55,053
販売費及び一般管理費	45,475	48,614
営業利益	10,448	6,438
営業外収益		
受取配当金	556	651
持分法による投資利益	1,080	183
その他	747	574
営業外収益合計	2,384	1,410
営業外費用		
支払利息	440	449
固定資産除却損	567	512
為替差損	234	91
その他	787	1,019
営業外費用合計	2,030	2,072
経常利益	10,802	5,776
特別損失		
固定資産売却損	—	243
投資有価証券評価損	628	—
特別損失合計	628	243
税金等調整前四半期純利益	10,173	5,533
法人税、住民税及び事業税	3,292	2,412
法人税等調整額	98	3
法人税等合計	3,390	2,415
少数株主損益調整前四半期純利益	6,783	3,117
少数株主利益	494	275
四半期純利益	6,288	2,842

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,783	3,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,166	△2,477
為替換算調整勘定	△2,560	△3,460
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	△2
その他の包括利益合計	△5,743	△5,941
四半期包括利益	1,040	△2,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	678	△2,890
少数株主に係る四半期包括利益	361	66

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,173	5,533
減価償却費	13,450	14,047
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△230	113
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△110	△164
受取利息及び受取配当金	△615	△709
支払利息	440	449
持分法による投資損益(△は益)	△1,080	△183
固定資産処分損益(△は益)	337	620
投資有価証券評価損益(△は益)	628	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,723	△3,884
たな卸資産の増減額(△は増加)	575	△7,905
仕入債務の増減額(△は減少)	1,476	△521
その他	1,886	△687
小計	23,208	6,707
利息及び配当金の受取額	632	740
利息の支払額	△435	△453
法人税等の支払額	△2,879	△4,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,526	2,833
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,483	△13,635
有形固定資産の売却による収入	—	849
無形固定資産の取得による支出	△476	△1,176
投資有価証券の取得による支出	△995	△129
投資有価証券の売却による収入	6	528
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,878	—
関係会社株式の取得による支出	△1,191	△928
関係会社株式の売却による収入	98	98
貸付けによる支出	△624	△50
貸付金の回収による収入	38	158
その他	454	△142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,053	△14,428

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,103	2,325
長期借入れによる収入	1,170	2,066
長期借入金の返済による支出	△1,409	△782
社債の償還による支出	—	△5,149
リース債務の返済による支出	△257	△210
配当金の支払額	△2,714	△2,711
少数株主への配当金の支払額	△89	△77
自己株式の取得による支出	△11	△8
自己株式の売却による収入	1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,207	△4,547
現金及び現金同等物に係る換算差額	120	514
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	385	△15,627
現金及び現金同等物の期首残高	40,513	36,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,899	21,350

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額	合計
	化成品	機能性樹脂	発泡樹脂製品	食品	ライフサイエンス	エレクトロニクス	合成繊維、その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	42,802	35,249	28,727	60,097	23,023	20,441	13,964	224,307	—	224,307
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,450	234	85	0	100	321	701	2,895	△2,895	—
計	44,252	35,484	28,813	60,098	23,123	20,763	14,666	227,202	△2,895	224,307
セグメント利益 又は損失(△)	697	4,232	2,895	3,973	4,188	△2,390	587	14,183	△3,734	10,448

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,183
セグメント間取引消去	△14
全社費用(注)	△3,673
その他の調整額	△46
四半期連結損益計算書の営業利益	10,448

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフサイエンス」セグメントにおいて、Eurogentec S.A.の株式を取得し、連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、4,282百万円でありませぬ。

## II 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額	合計
	化成品	機能性樹脂	発泡樹脂製品	食品	ライフサイエンス	エレクトロニクス	合成繊維、その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	45,895	37,572	28,734	64,495	23,289	19,387	15,474	234,848	—	234,848
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,185	295	100	0	8	692	779	3,062	△3,062	—
計	47,081	37,867	28,834	64,496	23,298	20,079	16,253	237,910	△3,062	234,848
セグメント利益又は損失(△)	1,274	3,802	1,897	2,508	3,869	△2,557	656	11,452	△5,013	6,438

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,452
セグメント間取引消去	△3
全社費用(注)	△4,994
その他の調整額	△14
四半期連結損益計算書の営業利益	6,438

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。